

海老名総合病院

腎臓内科 後期研修プログラム

## 1. 概要

当科では腎臓病一般を扱っており、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、末期腎不全の管理、透析導入、維持透析管理、院外、院内発症急性腎障害の管理、治療などを行っている。

血液浄化に関しては、HD、HDF、CHDF、血漿交換、のほか、エンドトキシン吸着、LDL吸着、LCAP,GCAP,などの吸着療法も施行しています。

## 2. 主な診療科データ

入院ベッドは 12-15 床、入院透析ベッド 8 床、外来透析ベッド 32 床を有している。

2011 年度の新規血液透析導入患者は 43 例、腎生検 5 例（2012 年度は 6 月までに 7 例）、LCAP3 例である。

外来は専門外来として週 5 日行われていて、一日平均受診数は 15 人程度である。外来維持透析患者は 86 人である。

## 3. 行動目標、経験目標、到達目標

### a. 一般目標

初期臨床研修において学んだ基本的な事項にくわえ、入院および外来患者の診療を通じて、腎臓内科専門医として必要な専門的知識および専門的診療技術を習得すると共に、学会、研究会活動を通じて臨床研究についての知識を深める。

また、専門分野のみでなく、患者の多様なニーズに対応できる幅広い知識と技術をもった良識ある臨床医を育成することを目的とする。そのために臨床医として必要な基本的態度、基本的知識および診療技術を習得する。

### b. 行動目標

#### 1) 臨床医として必要な基本的事項を身につける

- ・ 医師としての職業的倫理原則をよく理解し、診療に必要な知識、技能、判断力、態度を身につける
- ・ 緊急を要する疾患、病態に対応できる臨床能力
- ・ 患者や家族の有する問題を身体的、心理的および社会的側面から全人的に理解し適切に対応する
- ・ 患者および家族とのコミュニケーションを十分に適切に行うことができる
- ・ チーム医療の原則を理解し、パラメディカルスタッフや他科医師など、他の医療メンバーと強調することができる
- ・ 診療録やその他の医療記録を適切に作成する

- ・医療に関する法令を遵守し、福祉制度を理解する
- ・地域医療連携の理解
- ・自己評価を行い、診療の質の向上を図るよう自己研鑽をつむ

## 2) 専門的知識および専門的診療技術の習得

### ①画像診断

→単純 X 線写真、CT、MR、各種エコー

### ②臨床検査学

→血液・生化学検査の理解、血液ガスデータの解釈、腎機能検査の実施と理解、免疫学的検査の実施と解釈、尿生化学検査の理解

### ③腎生検

腎生検の適応決定、実施、病理組織学的診断

### ④血液浄化法（含 CAPD）の適応決定と実施

CKD、AKI、多臓器不全、劇症肝炎などに対する血液浄化法の適応決定と実施

### ⑤内シャント手術、CAPD カテーテル挿入手術

術前術後の管理および手術助手

### ⑥水・電解質バランスと輸液療法

水・電解質・酸塩基平衡の機構の理解、異常病態の理解とその治療

### ⑦主要徴候の病態と管理

### ⑧代表疾患

- ・慢性腎臓病
- ・腎不全：急性腎障害、慢性腎不全、長期透析患者の病態
- ・水・電解質代謝異常：体液量、Na、K、Ca、P、酸塩基平衡などの異常
- ・一次性糸球体疾患：急性腎炎症候群、急速進行性糸球体腎炎症候群（ANCA 関連疾患など）、慢性腎炎症候群（IgA 腎症など）、ネフローゼ症候群
- ・尿細管・間質疾患：特発性間質性腎炎、薬剤性腎障害、尿細管性アシドーシス
- ・全身性疾患による腎疾患：糖尿病性腎症、痛風腎、アミロイド腎、骨髄腫腎、膠原病に伴う腎障害（ループス腎炎、顕微鏡的多発血管炎、Wegener 肉芽腫症、クリオグロブリン血症など）、感染症に伴う腎障害（敗血症、HCV 腎症、HBV 腎症）、悪性腫瘍に伴う腎障害
- ・血管系疾患：高血圧、腎硬化症、血栓性最小血管症、コレステロール塞栓症など
- ・妊娠高血圧症候群

## c.到達目標

後期臨床研修期間 3 年間の研修をもとに、学会認定医、専門医をめざす。

#### 4. 研修指導体制

##### a. スタッフ

小俣正子 内科学会認定医、腎臓学会認定専門医、透析医学会指導医  
香取秀幸 内科学会専門医、腎臓学会認定専門医、透析医学会指導医  
浅井友基 内科学会認定医、腎臓学会認定医、透析医学会専門医

##### b. 週間スケジュール

月曜日：17：00 より入院カンファレンス  
木曜日：14：30 より透析カンファレンス（パラメディカルスタッフと合同）  
16：00 より入院カンファレンス（パラメディカルスタッフと合同）と回診  
金曜日：17：00 より入院カンファレンス

##### c. 研修期間

原則として3年

##### d. 研修方法

1年次：入院患者の担当医として治療にあたる  
外来通院中の慢性維持透析患者の管理にあたる  
腎生検、シャント作成、シャント PTA などの手技の習得  
2年次：上記に加え、透析患者の周術期管理  
周一回の外来を担当  
3年次：上記および、初期研修医の指導

上記期間中必要であれば他科での短期間の研修も可能である

##### e. 評価

年度の終わった時点で、指導医により研修内容と成果について総合的に評価を行い、次年度の研修内容を修正する